

平成30年2月19日付【水道産業新聞】

九州支部＜熊本地震の支援活動を記録＞

『熊本地震—上下水道担い手として—』を発行

熊本地震の支援活動を記録

水コン協九州支部 『熊本地震—上下水道の担い手として—』を発行

全国上下水道コンサル

る。

タント協会九州支部は、熊本地震の支援活動を『平成28年(2016)熊本地震—上下水道の担い手として—』と題する冊子にまとめた。震度7が連続して2度も発生する前例のない熊本地震に対し、同協会が行った支援活動の貴重な記録とな

る。全国上下水道コンサルタント協会・九州支部会員7社は熊本地震時、熊本市や益城町と災害支援協定を締結し、現地本部を設置するなど上下水道分野の支援活動を行った。事業体との災害協定は協会初となるもので、調査・復旧・査定支援に



冊子はA4版83頁

重要な役割を果たした。復旧支援活動には上下水道関係8事業体に延べ2274

人、下水道関係10事業体に延べ5117人が従事した。

冊子は、①熊本地震の概要②上下水道の被災状況③水コン協九州支部の活動④災害時支援協定締結に基づく支援活動⑤直接要請に基づく支援活動⑥の5章構成。4月14日の前震発生から、水コン

協現地本部解散の9月9日までの支援状況、さらに会員が各事業体から直接要請を受けて行った支援活動の事例などを詳細に記録している。

水コン協九州支部長の松尾禎泰・松尾設計社長は「今回の支援業務を貴重な経験として、上下水道事業に携わる関係者と情報共有し、今後の災害支援に活かしていきたい」と冊子発行の意義を記している。